

原発に関心があるけれど、これまで情報を得るチャンスがなかった方々、是非を考える前に基本的なことを知りたいという方々にお勧めの連続セミナーです。マスコミがあまり報道をしない、原発の燃料をめぐる問題と状況、そして日本が原発を海外に輸出し始めていることに焦点を当てて学びます。原発の問題は、日本国内だけを見ていても解決しません。原発問題を広い視野をもって考えてみませんか。

# 第1回 原発、そもそもどこから？ そしてどこへ？

— マスコミが報道しない、原発のフシギ。 —

日時 2012年1月28日(土) 13:00~17:00  
会場 日本大学法学部三崎町キャンパス2号館  
参加費 無料



プログラム 2つの映像をみながら、京都精華大学の細川弘明先生がわかりやすく解説されます。  
(使用映像「ハード・レイン」、「原発、ほんまかいな?」  
共にアジア太平洋資料センター制作。)

危険と不安の  
おまけつき

# 第2回 差し上げます、「便利」と「安全」 — オールジャパンで原発輸出 —

日時 2012年2月11日(土) 13:00~17:00  
会場 早稲田奉仕園リバティホール  
参加費 無料  
講師 田辺有輝(「環境・持続社会」研究センター JACSES)  
満田夏花(FoEJapan、メコン・ウォッチ)

## 第1回 原発、そもそもどこから？ そしてどこへ？ — マスコミが報道しない、原発のフシギ。 —

3月に起きた福島第一原子力発電所の事故以来、原発の安全性についてはいろいろなところで議論されてきました。その中でも、原発事故による被害や事故発生の可能性は多くのマスコミも取り上げていますが、そもそも原発の燃料はどこから来て、使用後はどこに行っているのでしょうか。発電前後の過程は安全なのでしょうか。

この講座では、原発の燃料とそれが使用後にどうなっているのかを、映像を使いながらわかりやすくひもときます。「原発に関心はあるけれど、よくわからないんです」という方、オススメです。

**日時** 2012年1月28日(土) 13:00~17:00  
**会場** 日本大学法学部三崎町キャンパス2号館  
(東京都千代田区三崎町2丁目3番1号  
最寄り駅 JR・地下鉄「水道橋」、地下鉄「神保町」)

**参加費** 無料、定員 100名

### プログラム

映像「原発、ほんまかいな」と「ハード・レイン」を部分的に視聴し、講師の細川弘明さんがわかりやすく解説します。

### 講師プロフィール

細川弘明 (ほそかわ・こうめい)

オーストラリア先住民族の土地権運動や環境知識について研究。映画『ジャビルカ』日本語版、「原発、ほんまかいな？」も監修。福島市での活動を中心とした「放射能除染・回復プロジェクト」にも参加。

### 映像紹介

●原発、ほんまかいな？

監督：鈴木敏明

制作：アジア太平洋資料センター／PARC

福島第一原発事故から半年——。

ウラン鉱山開発から核燃料サイクル、放射線の影響、原発労働、事故の影響まで、いま原発を考えるための情報が満載！「推進の理由」に、専門家とともに徹底的にツッコミをいれる“原発”ドラマ。

●ハード・レイン —パンドラの箱から降り注ぐ放射能

監督：デイビッド・ブラッドベリー

制作：アジア太平洋資料センター／PARC (日本語版)

福島をはじめとして、日本の原発でも使われてきたオーストラリア産ウラン。その産出現場やウラン鉱山をめぐるドキュメンタリー。

## 第2回 差し上げます、「便利」と「安全」(危険と不安のおまけつき) — オールジャパンで原発輸出 —

今、日本は原子力発電所の輸出を始めようとしています。まずは、ベトナムとヨルダン。日本での原発の新規建設や再稼働は議論になっていますが、海外であれば大丈夫なのでしょうか。この講座では、なぜ日本が原発を輸出することになったのか、そして輸出が予定されている国の状況などについて学びます。

**日時** 2012年2月11日(土) 13:00~17:00  
**会場** 早稲田奉仕園リバティホール (東京都新宿区西早稲田2-3-1 最寄り駅：地下鉄「早稲田」)  
**参加費** 無料、定員 80名  
**講師** 田辺有輝・満田夏花

### 講師プロフィール

田辺有輝 (たなべ・ゆうき)

1998年より国際青年環境NGO、A SEED JAPANの理事、2003年よりJACSESの理事及び持続可能な開発と援助プログラム・コーディネーター。2004年よりマニラに本部を置く国際NGO、NGO Forum on ADBの国際運営委員。

満田夏花 (みつた・かんな)

国際環境NGO FoE Japan 理事。メコン・ウォッチ、政策担当。一橋大学非常勤講師。地球・人間環境フォーラムにおいて「開発途上国における企業の社会的責任」、「国際金融機関の環境社会配慮」などの分野での調査・政策提言活動を行ってきた。2009年7月から現職。東日本大震災後、原発・エネルギー担当として、福島の被ばく最小化の問題に取り組む。

共催：(特活) アジア太平洋資料センター／PARC、(特活) APLA、(特活) アーユス仏教国際協力ネットワーク、(特活) 開発教育協会 (DEAR)、(特活) 日本国際ボランティアセンター (JVC)、(特活) メコン・ウォッチ

協力：「環境・持続社会」研究センター (JACSES)、日本大学法学部佐渡友ゼミ

申込先：開発教育協会 TEL 03-5844-3630、FAX 03-3818-5940、Email event@dear.or.jp

お申し込みはネットからでもできます。詳細情報も併せて、<http://www.dear.or.jp/getinvolved/e120128.html> をご参照ください。

お申し込みは、上記のウェブサイトからご記入いただくか、下記の必要事項を FAX (03-3818-5940) か Email (event@dear.or.jp) でお知らせ下さい。

お名前		ご所属	
TEL	FAX	Email	
希望講座 (○で囲む) <b>第1回</b>		<b>第2回</b>	